

『八代市・地産エネルギーを活かしたコミュニティ再興と変革』構想 ～地域資産を活かした新しい温泉地作りと、エネルギー経済循環・強靱な地域を目指して～

代表提案者	やつしろ未来づくり協議会（八代学園・西田精麦(株)・松木産業(株)・八代市・他）
協同提案者	日奈久温泉旅館組合・株式会社DFC

八代市は、海・河川・森林に囲まれた自然豊かな地域であるが、歴史ある日奈久温泉で後継者難で旅館の撤退が進み、町内の街灯が一部消えるなど、活力の低下が見受けられる。八代市の地域資産である、水資源・農水路等の地産エネルギー源を活かしつつ小水力発電を事業推進したり、日奈久温泉にてバイオマス発電を取り入れつつ家族風呂や介護付温泉事業に取り組むなど地産地消型の新しいプロジェクトを進めることで、コミュニティを再生し、さらに進化させることを目指す。

八代市の特色ある地域資産

豊富な水資源・用水路

地域創出エネルギー
MEIDO IN八代

歴史ある観光地・日奈久温泉

LP1:水力資源の発掘・活用

LP2:地産・分散エネルギー活用による
日奈久温泉の再興と変革

① 小水力発電推進



活用

② 防災情報インフラ網の強靱化



小水力発電+蓄電池+EVを利用した重要設備や施設の無停電化等を図ると共に電源レスセンサの適用による停電エリアの安定的な情報収集、

地域の特性をいかした用水路を地産地消型の電力源として、小型水力発電機を設置し、農業施設や防災施設等に電力を供給。そのための水車の開発も行う。

LP1で
培われた
地域エネ
事業者の
ノウハウ活用

① 地産電源開発



活用

② 家族風呂・介護温泉施設推進



駐車場や空き地を活用して家族風呂、廃業旅館を活用して介護付き宿泊施設を建設。温泉水加温には発電排熱活用。

町内でバイオマスを活用した地産発電施設を建設し、温泉循環ポンプや街灯向け電力を供給